

きらり おばま 人

やる気触発プログラム受講グループ



「旬の市」に出店のため、準備をするメンバー

質の高い人間関係力、社会実践力を培う県立大学小浜キャンパスの「やる気触発プログラム」。このプログラムを受講する学生の中で、地元食材を使い、新しい商品を企画しているグループがあります。

「僕たちはこのプログラムに興味を持って集まった五人組です。学生が地域の中に入って、イベントなどの企画、運営できることが最大の魅力です。五人それぞれが企画を持ち込み、試行錯誤しながら楽しくやっています」と話

地元食材を使って新しい商品を開発中

すのは代表の奈須亮耶君（20歳）。地元業者の協力で、セリや食品加工、定置網漁などを体験したり、県観光連盟が主催する「旬の市」にも出店したりしているそうです。

「十一月に販売した「鯛カツバーガー」や「サゴシのフライ」は、すぐに食べられるものとして考え出したメニューです。評判は良かったんですが、鯛カツにあったパン生地選びなど、まだまだ改良していきたいですね。また、新しい食材として練り物にも挑戦しているんですよ。「旬の市」では、食べた人があつと驚くような商品を出していきたいので期待していてください」と商品開発に熱が入ります。

「小浜には有効に活用されていない地域の食材があり、「サゴシ」という魚もその一つです。僕たちみたいな地元じゃない人間が、そういう食材を発見できるのではないかと思えます。そのためにも、もっと地域に溶け込んで情報収集していきたいですね。そして、企画した商品が小浜の名物になればうれしいです」

「旬の市」は、お魚センター（川崎）で三月までの毎月第三土曜日に開催されています。ぜひ一度、大学生が考案した料理を味わってみてください。

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人（グループも歓迎）」を紹介してください。情報課 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線373

ワクワク振興アイデアBOX

●最近、野良猫に餌付けをする人がいて、数が増えています。公園など公共の場でもよく野良猫を見かけますが、ふん尿などで悪臭もきつく、衛生的に問題です。野良猫を減らすことができれば、市内の美化にもつながるのではないのでしょうか。

▼野良猫への餌付けは、鳴き声による騒音やふん尿などによる悪臭など、周辺住民に悪影響を及ぼすだけでなく、その地域の野良猫を増やすことにもつながります。市では餌付けをする人に安易に餌を与えないよう注意しています。そのような人を見かけましたらご連絡ください。

ワクワク振興アイデアBOXは、市役所一階ロビーと市民サービスコーナーに設置してあります。

また、増えた野良猫で困っている場合は、その地域の住民で保護していただくと、若狭健康福祉センターで引き取っていただきます。詳しくは相談窓口へお問い合わせください。

※県が十一月に各区長に配布した「どうぶつあいご便利帳」も参考にしてください
(環境衛生課)

野良猫の相談窓口

- ・県動物どうぶつあいごダイヤル ☎0776・20・0728
- ・県若狭福祉センター 環境衛生課 ☎52・1300
- ・県食品安全衛生課 ☎0776・20・0354
- ・市役所 環境衛生課 ☎内線 144

短歌

小浜市歌人協会 市民短歌大会入選作品

ひと度は見切りをつけし畑なれど
旬の野菜の味すてがたし 和多田 大江 治子

縁側に夫婦が茶を飲むシーンあり
私には最早還り来ぬ景 多田 藤井喜美子

賑やかな余韻を残し夕風に
念仏唱へる地藏盆の夜 遠敷 青木 哲子

俳句

小浜市俳句作家協会

八十年使いし袂縫初め 小浜日吉 河原 白杜

鉛筆と尖る杉の秀初明り 中井 信谷 冬木

敗戦の年暮れ去りし朝の雪 小松原 森田 昇

山柳

川柳かもめ教室

退屈を自分でつくるなまけ者 四谷町 東野富士江

微兵のない国にいる孫の顔 青井 村松 欣二

「お日さまはどこ」ハウス野菜の独り言 千種二丁目 新田千代子

広告

広告

広告

広告

広告

広告